

民報あばしり

NO. 906

2013. 2. 17

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四四三、四四五八
F 四三、四四五七



水道の導水管が破断!

1万1600世帯が最大18時間断水

藻琴山山麓から網走市へ水道水を運ぶ導水管が10日破断し、11日午後2時から12日午前8時まで、全世帯の約6割にあたる1万1600世帯が最大18時間断水しました。市の大規模断水は2010年2月に続き二度目です。

10日午後9時ごろ、水源地の取水施設の水量低下を示す警報器が作動し漏水が分かり、11日正午ごろ、潮見の漏水地点を特定した。市は11日午前9時に市長を本部長とする水道災害対策本部を発足させ、午後2時からの断水を決定した。

緊急招集した1000人の市職員で対策チームを編成、他市町村や自衛隊への支援要請をはじめ、給水場所の設置など地域への周知などを開始した。

11日正午ごろ漏水場所を特定、水源地から約

26キロ地点の潮見の沢地で断裂し、水が噴出した第一導水管を発見した。

ただちに復旧作業にとりかかったが、現場は幹線道路から約1.5キロほどあり、除雪作業などに時間を要した結果、作業開始時間が大幅に遅れたため12日未明の午前1時に復旧工事が終了、その後の通水により、12日の午前4時ごろから各世帯に通水を開始し、午前5時ごろには中心市街地、最も遠い北浜地区では午前7時ごろ通水を確認し、市は午前8時に断水を解除しました。

冷静な対応で 混乱は回避したが課題も

3年前の断水経験から、給水準備を進め、市民や病院、ホテル、飲食店を中心とする商業者は水をためるなどの自衛策をとったため大きな混乱はなかったものの、「オホーツク流水祭り」の最終日であったことから、飲食店では予約客のみ対応という営業縮小を迫られ、観光にも影響がでました。

また、午後2時の断水時刻に給水車が到着せず、1時間以上遅れてしまう郊外地区もあったほか、断水周知の市広報車のスピーカーからの音が聞き取れないなどの苦情が聞かれました。

今回の水道事故に対して共産党議員団は「前回の断水事故の教訓から、市は断水に至る前段階で導水管の漏水を把握する仕組みづくり、つまり『予防保全型』の体制をとってきたなかで起きました。今回の断水箇所は前回の溶接部分と



同じであることと、2月上旬の真冬に起きたことに注目しています。

議員団として、溶接箇所の破断面の徹底調査を要求してきた経緯から、今後、市の設置する第三者委員会での厳正かつ徹底的な原因究明を求めていくとともに、議会を通じて原因究明に努力していきたい」と語りました。

所管委員会で報告と質疑

13日に行われた経済建設委員会では、大澤副市長から水道漏水事故の経過と市民へのお詫びが述べられ、岩永企画課長から断水への対応概要が報告されました。

続いて佐々木施設課長から事故発生場所の特定に時間を要した経過とその後復旧作業について報告がありました。

経済建設委員会からの質疑では、事故原因など今後の対応について、第三者委員会を設置して原因究明にあたる。

今後、道水管全線を調査すると答弁がありました。

また、前回の事故を受けて、第三者委員会から定期的に道水管の定期的な調査をやることにしていたが、この箇所については対象となっていなかったことも明らかになりました。

流水

昨年の紅白歌合戦で初出演の美輪明宏さん、真う暗い舞台の奥から学生服を思わせる黒の衣装で登場「ヨイトマケのうた」を

歌った▼力仕事の建設現場で男達に混じって働き、子どもを育てる母親の姿を歌ったもので、いじめられたこの子どもは、やがて高校、大学へと進学しエンジニアに。「苦労、苦労で死んでいった母ちゃん見てくれこの姿」「どんなきれいな歌よりも、どんなきれいな声よりもほくを励まし慰めた母ちゃんの歌こそ世界一」と歌う歌詞と圧倒的な歌唱力に引き込まれ聞くもの胸を打った▼この歌の時代背景は、ちょうど第二次世界大戦の敗北直後の頃で、日本の国土は焼けただれ、人々の暮らしは悲惨だった。私に家も同じ、子供達を通学させるために父母は必至だった。母は数枚しかない着物を米に変え、日雇い労働にも出た。お人よしの父は、商売を始めてはだまされ、母は「働けど働けど我くらしくならぬ」「カネは天下のまわりもの、何とかなるよ」「国民が主人公のはずなのになあ……」と口癖のように言っていたが挫けなかった。人並みにと歯をくいしばり働く母が大好きだった▼アルハイマーになり痩せ細った身体で最後まで必至に生きようとした、母の姿を思い出す。67歳だった▼家族のために働いた父母達のエンヤコラは今、生きる人へのエールのように聞こえる。(U)



NHK ニュースより